

特別会計 企業会計

市では、一般会計以外に特別会計が8会計、企業会計が2会計あります。
特別会計を昨年度と比較すると、一般会計からの繰入金は、特別会計全体で7,811万円減少しました。

●特別会計…特定の収入でその支出が賄えるもの

会計名	歳入	歳出	歳入のうち一般会計からの繰入金
国民健康保険特別会計	52億6,195万円	51億9,989万円	3億7,185万円
後期高齢者医療保険特別会計	4億8,530万円	4億7,602万円	1億4,091万円
介護保険特別会計	31億1,602万円	30億9,783万円	4億7,617万円
工業団地造成事業特別会計	5,372万円	5,372万円	10万円
簡易水道事業特別会計	9億2,621万円	9億1,814万円	1億5,749万円
下水道事業特別会計	7億795万円	6億9,246万円	4億3,829万円
農業集落排水事業特別会計	3億7,852万円	3億7,852万円	2億8,560万円
漁業集落排水事業特別会計	2,843万円	2,843万円	2,683万円

※一般会計から総額18億9,724万円が繰り入れされました

●企業会計…使用料などの収益があり、支出を収益で賄っているもの

会計名	収益的収入	収益的支出	資本的収入	資本的支出	前年度繰越金などからの補てん額
水道事業会計	4億3,124万円	3億6,429万円	9,036万円	2億5,093万円	1億5,452万円
工業用水道事業会計	4,057万円	2,583万円	0万円	152万円	152万円

一般会計と別のお財布と考えてね



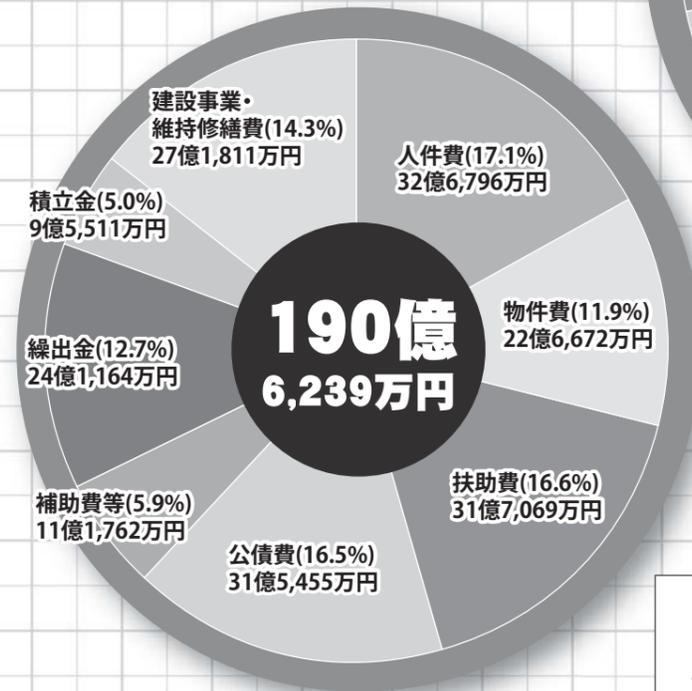
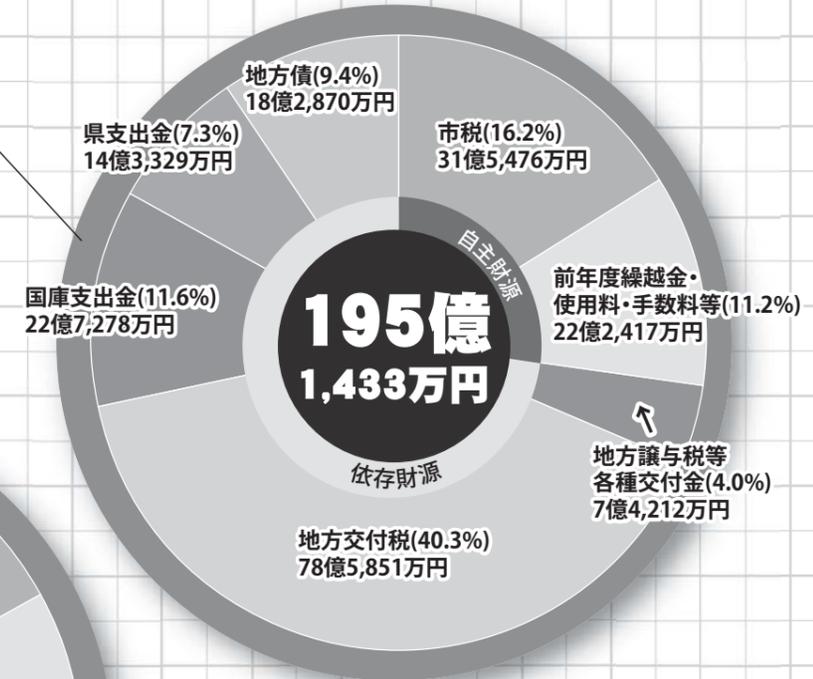
決算報告

平成28年度決算が12月市議会で認定されました。毎年公表される決算報告は、将来を見極めるうえで大切な指標となります。
平成28年度はどれだけのお金をどのように使ったのかお知らせします。

企画財政課 ☎57-8502

一般会計歳入

依存財源が全体の約7割を占める



一般会計歳出

前年度に比べて約21億円の減額

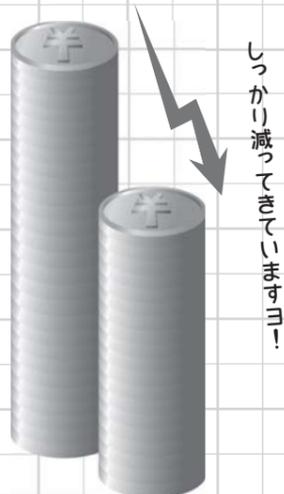
次年度繰越金

歳入 195億1,433万円
歳出 190億6,239万円
4億5,194万円 (繰越金のうち1億4,390万円は繰越事業費)
※前年度の事業が本年度に繰り越されたもの

借金返済(一般会計公債費)

借金残高は、**158億4,388万円**
28年度の借金返済額は、31億5,455万円

計画的に返済



しっかり減ってきています!!!

借金の返済額は、31億5,455万円で、昨年度に比べ3,157万円減少しています。
28年度末の借金残高は、昨年度と比べると11億7,725万円の減少となっています。市民1人あたりにすると、471,460円となります。

基金積立(一般会計積立金)

積立総額は、**136億8,901万円**
28年度の基金積立額は、9億5,511万円

将来に備え貯金

基金積立額は、9億5,511万円で、前年度に比べ12億8,951万円減少しています。
内容は、前年度の繰越金の2分の1以上を積み立てることと規定されている財政調整基金に2億5,317万円、市債の計画的な償還を行うための減債基金に4億5,310万円などとなっています。
28年度末の基金現在高は、前年度に比べ3億8,801万円増加しています。市民1人あたりにすると、407,338円となります。



一般会計をチェック!

平成28年度一般会計の決算は、歳入総額195億1,433万円、歳出総額190億6,239万円となりました。昨年度に比べ、歳入において22億5,932万円の減、歳出においても21億3,681万円の減となりました。
主な要因は、建設事業費や災害復旧事業費の減少とそれに伴う国庫支出金および市債等の減によるものです。また、歳入から歳出を差し引いた形式

収支は4億5,194万円の黒字に、形式収支から翌年度へ繰り越した事業に充てるための財源を控除した実質収支は3億804万円の黒字になりました。
しかしながら、歳入総額の約4割を占める地方交付税のうち、普通交付税の段階的縮減が始まっており、今後も厳しい財政状況が予想されます。

